



**売場改革の推進**  
総合メンテナンスコーナーの構築

店内に入り、お客さまから分かりやすい位置に、メンテナンス商品を集約した総合メンテナンスコーナーを展開。また、同コーナー付近に車検・メンテナンスの相談窓口である受付カウンターを設置し、お客さまの利便性向上とメンテナンスを切り口とした顧客接点の増大を図っています。(中期経営計画期間中に400店舗に展開予定)

# オートバックス 通信 vol.32

- 1 TOPメッセージ
- 3 特集 第63期定期株主総会のご報告
- 5 売場改革!  
—お客さま視点で「分かりやすさ」「選びやすさ」を追求
- 7 カー用品調査団—タイヤで燃費が変わる! 低燃費タイヤ
- 8 ニューストピックス
- 9 会社情報
- 10 株式情報

第64期 第1四半期 事業報告書 2010年4月1日から  
2010年6月30日まで

株主の皆さまにはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。日頃より、株主としてご支援を賜り、またお客さまとしてオートバックスグループ店舗をご利用いただき、誠にありがとうございます。ここに2011年3月期第1四半期のご報告をさせていただきます。

## 業績概況

当第1四半期につきましては、全般的に厳しい事業環境となりました。国内市場において政府のエコカー減税や補助金制度による一定の効果は見られましたが、消費者の節約志向は強く、昨年度急増したETC車載器需要も予想通り反動がありました。

こうした中、特に注力したタイヤの売上加え、新車販売台数の増加に伴い、アクセサリ・インテリア商品の売上が堅調に推移しました。半面、ETC車載器の需要減少やカーナビゲーションの一部供給遅れにより、カーエレクトロニクス商品の売上は減少しました。一方、オートバックスチェーン体となった取り組み強化により、車検実施台数は大幅な増加となりました。また、継続的な店舗支援や新車販売台数の増加により、車販売台数も拡大しました。

以上の結果、前年同期に比べますと、当第1四半期の連結売上高はやや下回りましたが、粗利益率の高いタイヤや車検・整備の売上比率上昇、仕入条件の見直し、海外子会社の損失縮小などにより、連結営業利益は若干上回りました。

## 新中期経営計画に沿って「売場改革」などを推進

今後につきましては、エコカー補助金制度の終了に伴う新車関連需要の減少、高速道路料金制度の改正に伴う自動



車利用の変化、カーエレクトロニクス商品の部品不足など、不確定な要素が散見されます。しかしながら、当社は2010年4月より、「オートバックス2010 中期経営計画」に着手し、「売場改革」「商品・仕入改革」「人材とオペレーションの改革」による「店舗収益率の向上」や新店の出店によるシェアの拡大に取り組んでおります。この中期経営計画の諸施策の着実な実行とともに事業環境の変化に機敏に対応することにより業績予想の達成を目指してまいります。

今後とも当社グループへの変わらぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年9月

代表取締役 社長執行役員

涌田節夫

## 第1四半期決算の概要

### 事業環境

○：政府のエコカー減税・補助金制度による新車販売台数増と、これに伴うカー用品の需要増が見られました。

×：全般的には消費者の節約志向は強く、昨年度需要が急増したETC車載器売上の反動がありました。

**国内オートバックスチェーン店舗売上**  
既存店 ▲3.7% 全店 ▲3.8%

### 連結売上高

**59,024百万円 前期比 ▲0.9%**

要因①：国内店舗においてタイヤやメンテナンス商品の売上が増加したものの、ETC車載器を中心にカーエレクトロニクス商品の売上が減少しました。

要因②：車検実施台数は前期比14.4%増加の110,384台となりました。

要因③：フランチャイズチェーン加盟法人店舗における車販売台数(中古車オークション向け販売を除く)は前期比14.7%増加の3,652台となりました。

### 売上総利益率

**30.5% (前期30.2%)**

要因：タイヤやサービスの売上比率が上昇し、仕入条件の見直しなどにより粗利率が改善しました。

### 販売費及び一般管理費率

**26.9% (前期26.7%)**

要因：タイヤを中心としたカー用品の販促活動を強化する一方、あらゆるコストの削減に努めた結果、ほぼ昨年度並みとなりました。

### 営業利益

**2,102百万円 前期比 +0.8%**

### 経常利益

**2,212百万円 前期比 ▲16.1%**

### 四半期純利益

**542百万円 (前期 873百万円)**

要因①：営業外費用として為替差損が発生しました。

要因②：特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1,166百万円や、子会社であった株式会社ブレーニングの合併に伴う特別退職金446百万円などを計上しました。

# 特集 第63期定時株主総会のご報告

当社は2010年6月24日(木)、ホテルイースト21東京(東京都江東区)において、第63期定時株主総会を開催しました。会場には132名の株主さまがご来場され、議決権行使書を事前にご提出いただいた方を含め、前期の総会を上回る3,847名の株主さまにご出席いただきました。

株主総会は、午前10時に開始され、代表取締役 湧田節夫と取締役 経森康弘が第63期事業報告などを行った後、議案の上程及び質疑応答を各議案ごとに行いました。質疑応答におきましては5名の株主さまから主に店舗サービス、株主還元、アジア進出などについてのご質問と経営への励ましのお言葉を

頂きました。

議案につきましては、剰余金の処分、取締役8名の選任、監査役1名の選任の3議案がそれぞれ原案どおり承認・可決され、1時間9分で終了しました。当社では、株主の皆さまとの質疑応答において頂戴した貴重なご意見・ご進言を、今後の経営に生かしていく所存です。

なお、議決権の行使結果は東京・大阪両証券取引所及び当社ホームページに開示しております。今後も透明性の高い経営に取り組んでまいります。

## 6月25日に開示した議決権行使結果

### 1. 議決権の状況

議決権を有する株主数	13,079名
総議決権個数	358,027個

### 2. 議決権行使状況

	株主総会前日までの 議決権行使(事前行使)	株主総会当日出席による 議決権行使	議決権行使合計
議決権行使個数	150,197個	158,914個	309,111個
行使率	41.9%	44.3%	86.3%

### 3. 議決権行使結果

	事前行使における 賛成数(賛成率)	当日出席を含めた 賛成数合計	議決権行使合計における 賛成率
第1号議案 剰余金処分の件	147,586個 (98.2%)	306,497個	99.1%
第2号議案 取締役8名選任の件	134,721個～139,750個 (89.7%～93.0%)	293,621個～298,637個	94.9%～96.6%
第3号議案 監査役1名選任の件	147,653個 (98.3%)	306,564個	99.1%

注1)「事前行使」の賛成・反対・棄権の各個数は、議決権行使書(インターネット等による行使を含む)による事前行使の議決権の数であります。

また、「議決権行使結果合計」の賛成・反対・棄権の各個数は、議決権行使書(インターネット等による行使を含む)による事前行使の議決権の数及び当日出席した株主の議決権の数(当日出席の株主の皆さまに決議事項に対する議決権行使結果をご記入いただいた用紙を、株主総会閉会後に回収・集計したもの)の合計であります。

注2) 議決権行使結果合計の賛成率は、「2. 議決権行使状況」の議決権行使合計の個数を分母として算出しております。



## 株主総会での質疑応答(抜粋)

**Q** 国内市場は若年層の車離れなどを背景に、オートボックスだけでなく業界全体が苦戦しています。今後は中国を中心とする経済成長著しいアジア進出を積極化すべきではないでしょうか？

**A** 中国につきましては、車の台数と人口は多いものの、まだまだ免許の保有者等は少ない状況です。現状のアフターマーケット市場規模から判断しますと、本格進出は時期尚早と考えられます。しかし、私たちも中国は将来有望な市場に発展すると見込んでおり、現在、上海に現地子会社の直営店を出店し、中国市場で成功するためのノウハウを蓄積しながら、今後の展開を検討してまいります。

**Q** 長期保有の株主に対して、何か検討している優遇策はありますか？

**A** 株主さまにはできるだけ長期にわたって当社株を安定保有していただきたいと考えています。そのためには、オートボックスが長期的に利益を出し続け、企業価値を高めることが最も重要なことです。株主優待におきましては、長期保有の株主さまと、短期保有の株主さまを特に区別しておりません。ただし、株主優待についてはまだ改善の余地があると思うので検討してまいります。

### 株主さまとのコミュニケーションを充実化

IRルームでは、今期販売に力を入れている商品等の展示や、中期経営計画の内容についてパネル等を用い説明しました。また、株主総会終了後に、取締役との懇親の場を設けたところ、多くの株主さまで賑わい、当社についてより身近に感じていただけたことと思います。一部の株主さまからは、他社にはないいい総会だったというお声も頂戴しました。今後も株主総会等を通じ、株主さまとの接点を設け、当社への理解や親睦を深めていただきたいと思います。



# 売場改革!

お客さま視点で「分かりやすさ」「選びやすさ」を追求

## 総合メンテナンスコーナーの構築

当社グループは、収益の源泉である国内事業の強化に軸足を置き、新中期経営計画(2010年4月から4年間)を推進しています。

その一環として、売場改革コンセプトに基づく店舗実験の結果、「顧客数の拡大」と「店舗収益力の改善」の観点から、有効と判断される施策を国内各店舗に広げ、標準化していくための取組みを積極化しています。

そうした中、今号では「総合メンテナンスコーナー構築」についてご紹介します。

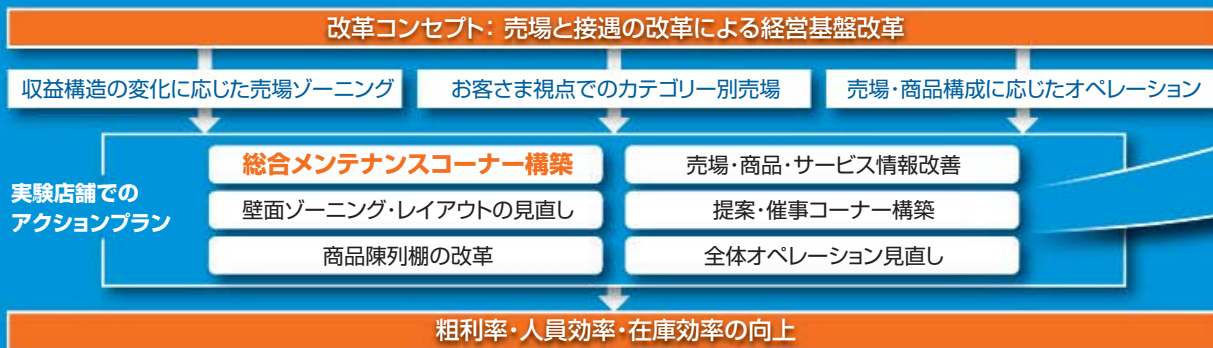
## メンテナンスの啓蒙と接客窓口としての機能に注目

オートバックスグループの店舗は、業界随一の品揃

えを強みとしています。それだけに「分かりやすく、選びやすい」店舗でなければなりません。従いまして、売場のレイアウトを工夫するのみならず、お客さまが気軽に相談できる環境を整えておく必要があります。

特にメンテナンス関連コーナーにおける接客・相談対応は重要です。なぜならメンテナンス関連商品・サービスは、クルマの長寿命化、省エネ化を背景に着実にニーズが高まっていくと予想されるものの、専門的な知識・情報を要するカテゴリーでもあるからです。そこで、メンテナンスの啓蒙と接客窓口としての機能を発揮する「総合メンテナンスコーナーの構築」に着目し、売場活性化を行っています。

### 売場改革の考え方



## 総合メンテナンスコーナーの設置による接客応対率の向上

実験店舗において、入口からの総合メンテナンスコーナーの視認性改善を図り、同時にお客さまが声をかけやすいように工夫したカウンターを併設。その結果、接客応対率※の大幅(平日31.2%→52.8%、休日20.6%→46.1%)な上昇に伴い、ピットメニューの売上も大きく伸び、対象カテゴリ商品販売の粗利向上につながりました。

これを踏まえ、総合メンテナンスコーナーでの展開カテゴリを追加し、お客さまの満足度の高い接客・相談対応の充実に向け、さらに踏み込んだ実験を進める予定です。

※接客応対率=接客数÷来店顧客数

### Before



コーナー視認性が悪く、メンテナンス商品のアピール力が弱い



商品・情報の不足・分散  
オイル以外の商品のつながり感に乏しい



お客さまが声をかけにくい  
カウンター

### After



入口からのコーナー視認性を改善



カウンターを併設し、相談対応による接客頻度向上



お客さまが声をかけやすいスタンディング型カウンターは、スタッフの機動性も高い。また、仕切り板が設置され、個人情報にも配慮

# カー用品 調査団

## タイヤで燃費が変わる! 低燃費タイヤ

今号では、優れた燃費性能で、CO<sub>2</sub>の排出量削減に貢献する「低燃費タイヤ」をご紹介します。

### タイヤラベリング制度スタート 低燃費タイヤの性能表示が分かりやすくなりました!



低燃費タイヤ

低燃費タイヤの  
統一表示マーク

2010年1月から、(社)日本自動車タイヤ協会が業界自主基準として策定した「低燃費タイヤ普及促進に関する表示ガイドライン」に沿って、統一マークを表記するタイヤラベリング制度がスタートしました。これは「転がり抵抗性能の等級がA以上」で、「ウェットグリップ性能の等級がa~dの範囲内」にあるタイヤを「低燃費タイヤ」としています。



#### 転がり抵抗性能

タイヤは走行中、路面に触れるとゴムが変形し、路面から離れた瞬間に元の形に戻ろうとします。この時に発生するエネルギーの損失を「転がり抵抗」と呼びます。身近な例では、自転車のタイヤの空気が抜けてくるとペダルをこぎにくくなりますが、これは転がり抵抗が増大したからです。



#### ウェットグリップ性能

タイヤが転がりやすくなると今度は、滑りやすい路面でブレーキをかけた時などが心配になります。特に濡れた路面での止まりやすさを「ウェットグリップ性能」と呼びます。



**ECOPIA  
EX10**



低燃費タイヤ

#### BRIDGESTONE ECOPIA EX10

材料技術の「NanoPro-Tech (ナノプロ・テック)」、タイヤが転がる際の歪みを抑制する「エコ形状」、部材ごとの「重量バランス最適化」で低燃費性能を向上。



**BluEarth  
14-73 1550**



低燃費タイヤ

#### YOKOHAMA BluEarth AE-01

タイヤの発熱を抑える新開発の「低発熱ポリマー」、ゴムを路面へしなやかに密着させる「オレンジオイル」など複数の素材を配合し、さらなる低燃費性能を実現。



**ENASAVE  
EC202**



低燃費タイヤ

#### DUNLOP ENASAVE EC202

EC202用コロエネゴムでトレッドゴム自体から、また低発熱ベースでタイヤベース部から、2つの不要な発熱を抑制し、タイヤ全体の転がり抵抗を低減。



# ニュースピックアップ

## PB及び専売商品を11アイテム投入

～お求めやすい価格設定で、  
お客さまのクルマ生活を応援～

当社グループは、お客さまにとって使いやすい機能を備えながらも、お求めやすい価格のオートバックスグループプライベートブランド(PB)商品・専売商品の開発に注力しています。第1四半期(2010年4月1日～6月30日)は、車載用地上デジタルチューナー、ポータブルナビゲーション、アルミホイール、ドリンクホルダー、アッシュボトル(車載用灰皿)など、11アイテムのPB・専売商品を投入しました。



アルミホイール  
「シュナイダー コルサージュ プレミアムライト」



アルミホイール  
「e:vance 5/2:S (エヴァンス ファイブツースエス)」



車高調整式サスペンションキット  
「Vacanza WAGON」



車載用地上デジタルチューナー  
「パナソニック TU-DV50」



ポータブルナビゲーション  
「SANYO NV-SB517DT」



「超粘着マット」シリーズ



ドリンクホルダー  
「ドリンクホルダーAD-01」



アッシュボトル  
「缶灰皿AH-01」

## オートバックス厳選カー用品を装着した クルマをプレゼント実施

～第1弾は約30アイテムのカー用品を装着した  
「プリウス」が当たる!～

『オートバックス厳選パーツでグレードアップ! とっておきのクルマ プレゼント』と題した、プレゼントキャンペーンの開催を本年度4回予定しています。同キャンペーンを通じ、アフターパーツの優れたコストパフォーマンスや機能面の優位性、利用者のニーズにあわせたパーツの選択の可能性など、純正のままでは感じるることのできない満足感や充実感をお伝えします。

2010年6月24日(木)～7月31日(土)に開催した第1弾では、軽量ホイールや、低燃費タイヤ、大画面カーナビゲーションシステムなど、オートバックスが厳選した約30アイテム(約100万円相当)のアフターパーツを装着した「トヨタ プリウス Sツーリングセレクション」を、当社WEBサイト(<http://www.auto-bacs.com/>)上からご応募いただいた方の中から抽選で1名さまにプレゼントしました。



このページの詳細、及びその他ニュースはこちらに掲載しております。  
<http://www.autobacs.co.jp/ja/news/index.php>

## 商号

株式会社オートバックスセブン  
(AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

## 創業

1947年2月

## 資本金

339億9千8百万円

## 主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェーン展開しております。

## 主要な事業所

本社	(東京都江東区)
北日本事業部	(宮城県仙台市)
関東事業部	(千葉県市川市)
中部事業部	(愛知県名古屋)
関西事業部	(大阪府吹田市)
南日本事業部	(福岡県福岡市)

## オートバックスグループ国内店舗数

オートバックス	399店舗
スーパーオートバックス	76店舗
オートハローズ	6店舗
走り屋天国セコハン市場	24店舗
オートバックスエクスプレス	6店舗

## 役員一覧

### 取締役

#### 代表取締役

湧田 節夫

#### 取締役

経森 康弘

宮内 英樹<sup>※1</sup>

森本 弘徳

田村 達也<sup>※1</sup>

服部 範雄<sup>※1</sup>

松村 晃行

小林 喜夫巳

### 監査役

住野 泰士 監査役

森野 孝太郎<sup>※2</sup> 監査役

井手 秀博 監査役

田邊 健介<sup>※2</sup> 監査役

池永 朝昭<sup>※2</sup> 監査役

### 執行役員

湧田 節夫 社長執行役員 チェン本部長

経森 康弘 副社長執行役員 チェン副本部長 兼 経理・財務統括 兼 経理・財務担当

森本 弘徳 専務執行役員 システム・総務統括 兼 海外事業統括 兼 海外事業担当

松村 晃行 上席執行役員 店舗販売企画統括

小林 喜夫巳 上席執行役員 営業統括 兼 エリア戦略担当

住野 耕三 上席執行役員 内部統括担当

上西園 英司 上席執行役員 中部事業部長

吉山 弘樹 上席執行役員 経営企画担当 兼 IR・広報部長

江本 吉弘 執行役員 北日本事業部長

戸出 謙 執行役員 関東事業部長

加藤 哲也 執行役員 関西事業部長

伊藤 浩明 執行役員 南日本事業部長

藤原 伸一 執行役員 店舗モデル構築担当

角倉 正親 執行役員 店舗販売企画担当

熊倉 栄一 執行役員 カー用品事業担当

榎 宏介 執行役員 サービス事業担当 兼 車販売事業担当

小平 智志 執行役員 人事・総務担当

平田 功 執行役員 情報システム担当

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

# 株式情報

2010年3月31日現在

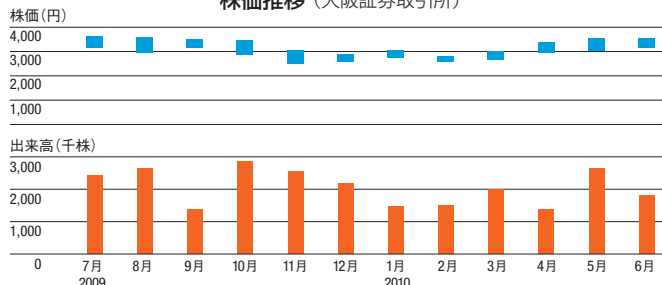
発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	37,454,204株
株主数	14,056名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
	なお臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
証券コード	9832
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	
電話照会先	☎ 0120-176-417
インターネットホームページURL	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>

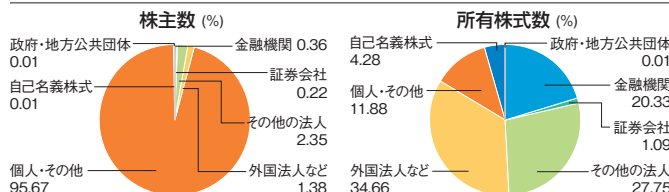
大株主一覧	いちごアセットトラスト 有限会社スミノホールディングス 日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 シルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル パリユー エクイティ トラスト ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント 株式会社スミショウホールディングス ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) リ ユーエス タックス エグゼンプテド ベンション ファンド 有限会社ケイアンドワイスマノ
-------	---

注) 1. 当社は自己株式1,601千株(所有割合4.28%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2010年3月31日現在)。  
2. 上記以外の名義換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。

## 株価推移 (大阪証券取引所)



## 所有者別状況 (2010年3月31日現在)



## 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛てにお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、左記の電話照会先にご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

### 株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税込み)のお買い上げ毎に1枚ご利用いただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されています。単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。  
【ご参考】

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 優待券1冊(25枚)  
1,000株~ 優待券2冊(50枚)
- 優待券は他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引後の金額に対してご利用いただけます。
- 優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレス、オートハローズ及びテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
- 優待券はメンテナンスパック、燃料、車両、廃タイヤ処分料、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。  
※ 車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工費、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。
- 優待券の複製・改変・転売は禁止させていただきます。

# “2010 AUTOBACS SUPER GTシリーズ最終戦 Round 8 MOTEGI GT 250km RACE”の 観戦チケットを抽選でペア5組10名さまにプレゼント!!

「SUPER GT」は「全日本GT選手権」として1994年に発足以来、年々人気が高まり、国内で最大の観客動員数を誇る人気No.1のレースとなりました。当社は大会冠スポンサーとして協賛し、モータースポーツの楽しさや感動を多くの方々に伝えています。また、それを通じて自動車関連マーケット全体の活性化を目指しています。



## 応募要項

官製はがきに下記①～⑤を明記の上、宛先住所までご送付ください。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。(ご応募いただいた方の個人情報を本プレゼント企画の連絡以外の目的で使用することはありません。)

①氏名 ②郵便番号/住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤今後オートボックス通信で取り上げて欲しいテーマ、欲しいプレゼントなど

この度、SUPER GT シリーズ最終戦 第8戦 もてぎGT250km レースにペアで5組10名さまをご招待いたします。

## 開催概要

大会名称： AUTOBACS SUPER GT Round 8  
MOTEGI GT 250km RACE

開催会場： ツインリンクもてぎ(栃木県)

開催日程： 2010年10月23日(土) 予選・10月24日(日) 決勝



## 宛先

〒135-8717

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント  
オートボックスセブン IR・広報部

「オートボックス通信vol.32 GTチケットプレゼント」係

## 応募締め切り

2010年9月30日(当日消印有効)

**AUTOBACS SEVEN CO., LTD.**

株式会社オートボックスセブン

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント 〒135-8717



この株主通信は、適切に管理された森林を使用したFSC認証紙に、大豆油インキで印刷しています。

## IR情報に関するお問い合わせ先

IR・広報部

電話: 03-6219-8718 e-mail: investors@autobacs.com

## お問い合わせ先

## 住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ先

住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-176-417

※詳細は10ページをご確認ください。